

第9回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会のご案内

テーマ 言語聴覚療法の最前線

寒冷の候、先生方に於かれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、第9回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会を下記のとおり開催いたしますので
ご案内申し上げます。

多数の研究発表とご参加をお待ちいたしております。

記

会 期：2008年6月21日(土)・22日(日)

会 場：栃木県総合文化センター(栃木県宇都宮市本町1-8)

会 長：藤田 郁代(国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科)

ホームページ：<http://square.umin.ac.jp/jas9th/>

企画プログラム：

会長講演

特別講演

Karalyn Patterson(Medical Research Council, Cambridge, UK)

Matthew Lambon Ralph(Medical Research Council, Cambridge, UK)

教育講演

「韓国における言語聴覚療法の現状と言語聴覚士教育」(仮題)

Misun Yoon(韓国ナザレ大学)

シンポジウム I

「脳病変による談話障害へのアプローチ」(仮題)

シンポジウム II

「テクノロジーの進歩と聴覚臨床」

セミナー I 学童期の言語の問題

大石 敬子

セミナー II 摂食嚥下障害領域の研究・臨床 up to date(仮題)

岡田 澄子

学生セミナー

「臨床実習を効果的に受けるには」(仮題)

ランチョンセミナー

市民公開講座

生涯学習講座 基礎講座・専門講座

事前登録：今回は、オンラインによる事前参加登録を行います。あわせてランチョンセミナー、託児、宿泊についてもご登録いただけます。当日の受付混雑緩和のために、事前登録をぜひご利用ください。詳しくは学会ホームページ(<http://square.umin.ac.jp/jas9th/>)をご覧ください。

演題募集要項

申し込み資格：

筆頭演者は本協会の会員もしくは会友とします。共同演者は本協会会員であることを問いませんが、言語聴覚士の場合は本協会会員に限ります。未入会の方は事前に入会手続きをとってください。協会入会は理事会の承認が必要なため、申し込み後、2か月以上かかることがあります。

※入会手続きに関しては協会ホームページをご覧ください→ <http://www.jaslht.gr.jp>

演題申し込み方法：

演題申し込みはインターネット(UMIN)を利用したオンライン登録のみです。

第9回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会ホームページ(<http://square.umin.ac.jp/jas9th/>)内より演題登録をしてください。

1) 演題の発表形式(予定)

口頭発表：発表時間7分 質疑応答3分

ポスター発表：発表時間6分 質疑応答3分

演題多数の場合はプログラム委員会にて発表形式を選ばさせていただきますのであらかじめご了解ください。

2) 演題登録に際しては、演題申し込み画面の指示に従って、発表形式、演題名、発表者氏名、所属機関名、会員番号、発表者メールアドレス、共同演者名、抄録本文(800字以内)など必要項目をすべて入力してください。

演題募集期間：

2007年12月15日(土)～2008年1月15日(火)

締め切り当日はアクセスが集中し、演題登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持って登録を行ってください。

申込締切：

2008年1月15日(火) 16:00

演題の採択：

演題の採否、発表時間、発表会場などは学会長・プログラム委員会にご一任ください。

事務局：

国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科 森田秋子 山本瑞穂

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸 2600-1

FAX：0287-24-3028 E-mail：9st@iuhw.ac.jp